

# 車椅子バスケットボールのルール

## 競技時間

ゲームは10分のピリオドを4回行います。第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間に、それぞれ2分のインターバルをおき、ハーフ・タイムは10分です。

1チーム5人の選手が、一般のバスケットボール競技と同じ高さのゴールにボールを投げ入れて、得点を競います

### (1) タップ・オフ

第1ピリオドの開始時のみセンター・サークルで行われます。第2と、第3、第4ピリオド及び延長時間はセンター・ラインのアウトからのスロー・インでゲームが開始となります。



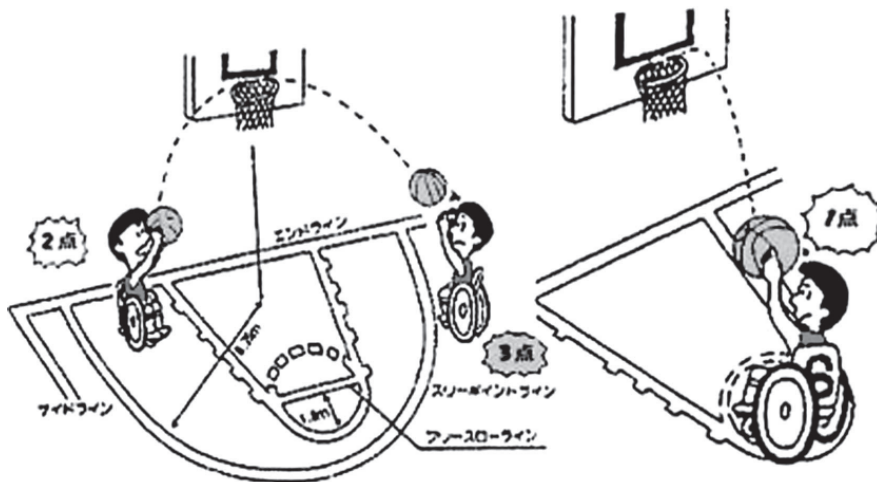
### (2) トラヴェリング

プレイヤーがボールをコントロールしている時のプッシュは、連続して2回までです。3回以上プッシュするとトラヴェリングのヴァイオレイションで相手ボールのスロー・インとなります。



### (3) ゴールと点数

スリー・ポイント・ラインより内側からのショットによるゴールは2点、スリー・ポイント・ラインより外側からのショットによるゴールは3点、フリースローによるゴールは1点となります



フリースローを側面から見た場合



※フリースローやスリー・ポイント・ショットの場合は前輪（キャスター）がラインを越えてもよい

### (4) おもな反則とゲームの開始

<ショットの動作でない時>

#### ◆プッシング

手やからだ或いは車椅子で相手や車椅子を無理に押し動かすこと。

#### ◆イリーガル・ユース・オブ・ハンズ

手で相手をたたくこと。

#### ◆ホールディング

手や腕で相手や車椅子を押さえて行動の自由を妨げること。



<ショットの動作の時>

ショットしようとした相手の手をたたいたり、からだ或いは車椅子を押した場合。

◆ショットが成功 フリースロー1本が与えられます。

◆ショットが不成功 フリースロー2本か3本が与えられます。



<バスケットボールの精神>

お互いの身体接触は避けなければならない。

## (5) 車椅子から転落（助けを必要とした場合）

- ◆プレイヤーがボールを持ったまま転落した場合 → ◆ヴァイオレーションで相手側が最も近いアウト・オブ・バウンズからのスロー・インで再開。
- ◆味方のプレイヤーがボールを持っている時、同チームの他のプレイヤーが転落した場合 → ◆ボールを保持していた側の最も近いアウト・オブ・バウンズからのスロー・インで再開。
- ◆相手のプレイヤーがボールを持っている時の場合 → ◆ボールを保持していた側の最も近いアウト・オブ・バウンズからのスロー・インで再開。

<ショット動作中の時>  
相手側がショットしようと試みている時

- ◆成功の場合＝レフリースローの後、エンドラインから得点された側のスロー・インで再開。
- ◆不成功の場合＝ボールの保持が明確になった時点でタイムアウトの後、ボールを保持していたチームの選手によってその地点に最も近いアウトからスロー・インで再開します。

## (6) ボールをバックコートにかえすこと

- ◆フロントコートに進めたボールをバックコートに戻してはならない。
- もし違反が起きた場合は相手チームが最も近いアウト・オブ・バウンズからスロー・インでゲームを再開する。



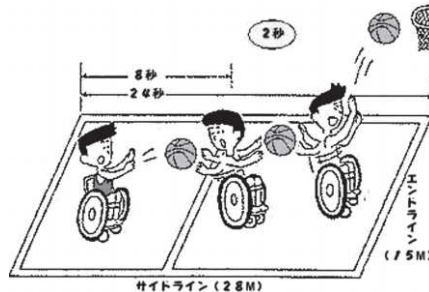
## (7) 時間制限（オーバertime）



- ◆スロー・インやフリースローの時、審判からボールを渡された後、ショットするまでの間、相手に近接して防御されパスやドリブルなどができなかった場合。



ボールをコントロールしたら、そのチームは8秒以内にバックコートからフロントコートにボールを進めなければならない。そして、ボールをコントロールしてから24秒以内にショットしなければならない。



## (8) チーム・選手の持ち点

コート内でプレイできるプレイヤーの障害程度に応じた持ち点合計は、14.0点を超えてはなりません。中間的機能を有する場合には0.5点を加えます。

級別	クラス1	クラス2	クラス3	クラス4
持ち点	1.0～1.5	2.0～2.5	3.0～3.5	4.0～4.5

## (9) 車椅子の規定

- 1) フットレストの高さ11cm以下  
床面からのフットレスト前面中心部で測ります。
- 2) シートの高さは下記の通り
  - ・1.0点～3.0点のプレイヤーに関しては63cm
  - ・3.5点～4.5点のプレイヤーに関しては58cm
- 3) 大輪の大きさ69cm以下  
空気を入れたタイヤの外側部の直径を計ります。